



November

2025

11



JAこしみず事務所にて
こむぎん(JAキャラクター)とでん坊(小清水町キャラクター)が初対面



JAこしみず

組合だより No. 179

クローズアップ
Closeup

- ① 収穫の秋
- ② 農協法公布記念日にあたって
- ③ JAこしみずイベント出展

農作業も終盤に差しかかりました。
無理をせず、事故防止と体調管理を徹底しましょう。

てん
ん
菜

てん菜の状況（ホクレン原料所より）

本年の受入は10月11日から始まり12月下旬までを予定しております。品位について、6月から8月にかけての高温および干ばつ、また8月下旬から発生したヨトウムシの被害により収量・糖分への影響が心配されましたが、糖収量は昨年並みを確保できる見込みとなっております。

澱粉原料用馬鈴薯

澱粉原料用馬鈴薯の状況（澱粉製造課より）

本年は9月1日～11月5日に原料を受入し、11月6日に操業終了となりました。品位・出来高については、高温及び干ばつにより生育が滞り、全体的に小玉傾向となりました。その影響もあり、専用品種反収は70.6俵/反（R6：75.3俵）、ライマン価は18.84（R6：19.62）と収量・ライマン価ともに平年より低くなりました。製品出来高袋数は前年を下回る78.9万袋となりました。

また、生産者の皆様の収穫後の適切な原料保管により昨年より腐敗原料が少ない結果となりました。でん粉不足の状況は続いているので引き続き作付面積の維持・拡大にご協力をお願い致します。

大豆の状況（農産課より）

本年の受入期間は9月26日から10月10日までと過去最速・最短で実施されました。町平均収量は10a当たり6.55俵となり、令和5年・令和6年に続き3年連続で過去最高反収を更新。取扱数量（乾燥重量）も25,000俵を超え、過去最高を記録しました。

品位については一部に虫害が見られるものの、汚粒は少なく概ね良好で、若干小ぶりな印象ではあるが大粒基準も満たせる見込みです。

販売面では、国内産・海外産共に在庫が潤沢で荷動きはやや停滞しておりますが、国産需要は根強く、東日本・西日本・九州エリアの大蔵面積が大幅に減少していることから、道産大豆の販路拡大に積極的に取り組んでいる状況です。

大
豆

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員の皆さんへのメッセージ



昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布されてから78年が経過しました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織を通じて農業生産力の向上と農業者の地位向上を図り、国民経済の発展に寄与することを目的に制定されたこの法律により、農業協同組合が誕生しました。

農業協同組合は「農業者による農業者のための組織」として、自主・自立、民主的運営を基本に、相互扶助の精神のもと、組合員の営農と生活の安定、地域社会の発展に貢献してきました。一方、現在、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。気候変動による猛暑や豪雨、円安による資材高騰、国際的な食料需給の不安定化などが農業経営に影響を与えていきます。

昨年、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の改正により、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられ、世界的な食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題への対応など、日本の農政は大きな転換点を迎えていました。

J A グループ北海道は、改正基本法に基づく農業構造転換対策の予算確保、食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員の声を国政に届ける活動を継続しています。

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に定めました。

この国際協同組合年を契機に、協同組合の力を再認識し、地域課題の解決と安心で豊かな未来の創造を目指しましょう。

最後になりますが、J A グループ北海道は、組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業と J A の発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

北海道農業協同組合中央会
代表理事長 樽井功



J A 帯広大正 メークインまつり

J A こしみず出展して参りました！

J A 帯広大正主催「メークインまつり」に出展！

令和7年9月23日（火）にいつもJAこしみずのお祭りを応援しにきてくれるJA帯広大正さま主催の「メークインまつり」に出展して参りました。出展ではお祭り限定品として「JA帯広大正のメークインパウダーとJAこしみずの小麦で開発した極太麺の焼きそば」を販売！なんと！大好評で開始約2時間で完売！たくさんの方々に食べて頂けることができました。メークインまつりの来場者数は合計1万人越え。開催内容については窯で茹でた大正メークインをじゃがバターにして無料配布やニジマスのつかみどり、キャラクターショー、キッチンカー、縁日など、本当に楽しめた内容となっておりました。

12月6日開催予定の「こしみず実りの感謝祭」では、メークインまつりで提供したコラボ焼きそばを販売する予定です☆
JA帯広大正さまも応援に駆けつけてくれます！皆さまお楽しみに☆



ほっかいどう秋の大収穫祭

J A こしみず出展して参りました！



北海道主催「ほっかいどう秋の大収穫祭」に出展！

令和7年10月3日（金）-10月5日（日）に今年度初開催の北海道主催「ほっかいどう秋の大収穫祭」に出展して参りました。広大な大地が育んだ秋の恵みを「食べる」「知る」「体験する」ことで農業の大切さやおもしろさを体感できるイベントであり、生産者の想いにふれながら、北海道の農業をもっと身近に、そして未来へとつなげていくことを目的に初開催されました。JAこしみず、アグリハートセンター、小清水町役場、山口油屋福太郎と合同で「小清水町」として出展。焼きたて「とろり」の提供を始め、こしみずラーメンや大粒なっとう、ほがじやなどの小清水町産農産物を使った加工品や本年収穫されたじゃがいもや玉ねぎの対面販売を行いました。小清水町に旅行で訪れた方や以前小清水町に住んでいた方など、本当にたくさんの方々が小清水町ブースにご来場くださいました。今後もJAこしみずとして関連機関と連携して小清水町のPRをしていきたいと思います。

札幌・東京でPRイベントに 参加して参りました。



10月30日(木)～31日(金)@ホテルポールスター札幌

小清水観光物産展

昨年に引き続き、ポールスター札幌で行われた「小清水観光物産展」へ参加して参りました。今回はアグリハートセンター/小清水町役場/moi moi cafe小清水/山口油屋福太郎株との合同出展となり、2日間にわたって開催されました。

JAこしみずからは小清水うどん・そうめん・ラーメン・納豆・カレーに加え、じゃがいもや玉ねぎなどの野菜を販売致しました。特に野菜は販売開始からわずか3時間程度で完売する日もあり、昨年に引き続き大変ご好評を頂きました。野菜を求めて連日足を運んでくださるお客様や、評判を聞いて初めて来店される方も多く、なかでも玉ねぎについては「実がしっかり詰まっていてとても美味しかった」とのお声をいただいております。その他には納豆も大人気でありリピーターも多くいました。また、日頃よりSNSで応援してくださるお客様も来てくださいり、こうした繋がりが少しずつ小清水町のPRにも広がっていることを実感しております。



11月5日(水)～7日(金)@JA東京アグリパーク(東京都渋谷区代々木)

北海道フェア

本年は初めてJA東京アグリパークで北海道フェアを開催しました。JA東京アグリパークが入るJA東京新宿ビルはJA東京グループの施設として、都市農業の情報発信とビジネスの融合を目指した物販店舗・会議室・オフィスの複合ビルとなっております。また、1階部分にある「JA東京アグリパーク」では全国各地の農業関連団体が週替わりでイベントを行うスペースとして活用されています。店舗内にある「あぐりキッチン」ではランチやお弁当の提供も行っており、平日の昼には、周辺で働く方々がランチを求めて来場します(平均50～80食/日)。そして、再度夕方に生鮮品や加工品を購入しに来るケースもあり、集客効果の高い施設です。

今回のフェアはアグリハートセンター/小清水町役場/JA帯広大正/山口油屋福太郎株との合同出展であり、特に十勝とオホーツクの美味しいものを同時に楽しめる点が大変好評でした。店内で流しているPR動画やパンフレットにも多くの方が関心を寄せてくださいり、小清水町を初めて知る来場者も説明を行うと、熱心に耳を傾けていただきました。なかには、既に小清水町を訪れたことのある方や、SNSを通じて小清水町を知り、来場された方もいらっしゃいました。また、加工品の試食を提供了ところ、商品開発の取組みや地域とのコラボについて感心を持ってくださる方が多く、より売り上げが伸びたように感じました。

東京での開催に不安もありましたが、多くの方々に小清水町の魅力を伝える事ができ、小清水農業のPRに繋がったと感じております。



J Aにしうわ



農業体験交流



北海道の広大な畑は最高！

9月15日より3日間の農業体験交流を小清水町内で実施。

J Aにしうわより、生産者の山下淳さん（43）、亀井隆志さん（44）、魚崎裕司さん（45）、JA職員の上田俊之涼さん（26）の4名が農業体験交流として小清水町へ来てくれました。

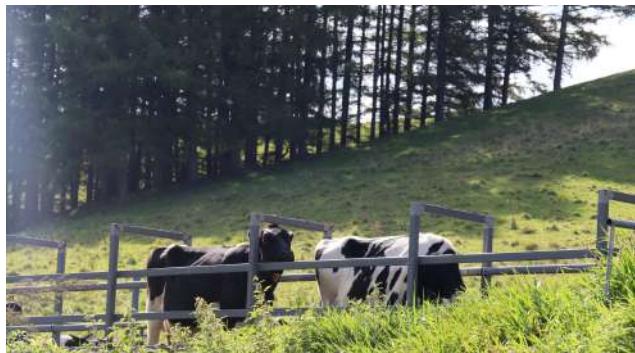
3日間の農業体験として南瓜の選別作業や馬鈴薯の収穫作業、たまねぎの選別作業などを行いました。体験中には「畑の広さがすごい」や「貴重な体験をさせてもらった」など小清水町の広大な畑を前に驚いた様子も伺えました。

また、JA支援課の水口担当は「今後もJAにしうわとの農業体験交流を継続して行い、JAにしうわとの連携をより一層深めていきたい。今年は私もJAにしうわに行くのでしっかりとJAにしうわの農業を学んできたい」と声を弾ませておりました。

農業体験交流の受入れにご協力頂いた組合員の皆様本当にありがとうございました。



J Aこしみず 下牧を実施



牛さんたちが家路に

秋風が吹き、山粧う季節が近づく中、JA牧場課・畜産課・組合員課・小清水町役場産業課により10月15日から町内3カ所（水上牧場・美和牧場・上徳牧場）の牧場から自宅への下牧及び町営牧場（神浦）への牧場間移動が行われました。

5月の入牧から牧草地で元気にすくすくと育ち、約5ヶ月間の放牧を経て、冬が近づいてきたこの時期に家路につきました。

長い間、管理をしてきたJA牧場課の職員は家路を見守る中、ちょっと寂しそうな表情も浮かべておりました。

放牧は牛の足腰を鍛え分娩時の事故防止をするほか、夏場の育成牛管理の労務軽減やコスト低減などを目的に毎年行っています。

令和7年10月8日(水)小清水町の小学校・中学校の給食に 小清水ラーメンを提供させていただきました！

小清水町産小麦100%で作った「こしひずラーメン」を、日頃から学校給食に麺を提供してくださっている㈱ツムラ製麺様のご協力のもと、学校給食として子どもたちに味わっていただきました。特別なラーメンをより特別な気持ちで楽しんでもらえるように、小学校1~3年生のクラスにはJAこしひず公式キャラクター「こむぎん」も登場し、子どもたちと一緒に盛り上りました！



食育活動/秋の収穫体験を実施！

JAこしひずの食育活動として、青年部の協力のもと、本年も収穫体験を実施しました！小清水町認定こども園の子供達はアグリハートセンターの畑でさつまいも掘りを体験！中学校の子供達は青年部圃場にて春先に自分たちで種を播いて、順調に育ったじゃがいもを収穫していただきました！沢山の量を掘り上げるのは大変だったと思いますが、最後まで頑張って収穫ができました。お疲れ様でした！



第26回オホーツクJA青年部活動実績発表大会 JAこしみず青年部「久保 輝恭さん」 最優秀賞を受賞！

令和7年11月13日（木）ホテルベルクラシック北見にて第54回オホーツクJA青年部研修大会が開催され、JAこしみず青年部からは9名参加しました。

本大会は管内JA青年部が一堂に会し、発表大会や講演等を通じて研修を行い、青年部員間の交流と組織強化を図るとともに、オホーツク農業の更なる発展について考えることを目的として毎年開催されます。

大会では青年部活動実績発表や動画で発信！農の魅力オホーツク地区コンテスト、2025年純農Boyオホーツク地区オーディションが開催され、各種オホーツク地区代表が決定いたしました。JAこしみず青年部としては第26回オホーツクJA青年部活動実績発表大会に出場。今年で26回目の開催となる活動実績発表は青年部活動の取組み内容を発表し、優良事例の共有することでJA青年組織の強化を図ることを目的として開催されます。JAこしみず青年部発表者は久保輝恭さん（旭野支部）。発表ではJAこしみず青年部ポリシーブックのテーマである「逆境を乗り越え、未来に種をまこう！」を軸とした青年部活動の紹介、青年部開発の「cosimizBEER」についての取組紹介を行いました。審査講評ではプレゼンの聞きやすさや内容の明確さが評価され、なんと！最優秀賞に選ばれました！

受賞された久保輝恭さんは「受賞できたのはJAこしみず青年部の協力があったから。全道大会でもオホーツク地区代表としてJAこしみず青年部の活動について自信を持って発表してきます」と全道JA青年部大会に向けての意気込みを語りました。

12月4日・5日で開催される全道JA青年部大会の活動実績発表にてオホーツク地区代表としてJAこしみず青年部（久保さん）が発表して参ります。皆様応援を宜しくお願ひいたします！



役員会議室



◆第9回理事会 令和7年9月25日(木)

▷報告事項

- 1) 有限会社小清水農機車輌工業 6月末実績報告
- 2) 丸北北興運輸株式会社 7月末実績報告
- 3) 株式会社Rakumo 7月末実績報告
- 4) 株式会社小清水農業振興公社令和6年度決算報告
- 5) 令和7年度豆類対策委員会（9/19）開催結果
- 6) 令和7年産澣原馬鈴薯の受入状況
- 7) 令和7年産青果物の販売状況（9/15現在）
- 8) 令和7年産民間流通小麦入庫実績及び一次品代金の精算
- 9) Beerパーティーの開催結果
- 10) 地域協議の開催結果
- 11) 令和7年度JA共済コンプライアンス点検結果
- 12) 経営階層区分設定要領の制定

▷協議事項

- 1) 令和7年度小清水みのりの感謝祭の開催

▷議案

- 1) 令和7年度貸付金利率の最高限度の変更（案）
- 2) 当組合における取引リスク評価書の更新
- 3) 育児および介護休業規程の改正
- 4) 規程の廃止

◆第10回理事会 令和7年10月23日(木)

▷報告事項

- 1) 第2回てん菜対策委員会（10/3）の開催結果
- 2) 令和7年産澣原馬鈴薯の受入れ状況等
- 3) 令和7年産豆類の受入状況等
- 4) 令和7年産青果物の販売状況等
- 5) 令和7年産牛蒡の概算払い
- 6) 種馬鈴しょ選別施設の稼働状況及び種子馬鈴薯確保状況
- 7) Gp確認に伴う現状と今後の対応
- 8) 令和7年度固定設備計画の取得状況
- 9) 役員改選に伴う役員選任制度に関する答申

▷議案

- 1) 就業規則等の改正について



ご契約者の
皆さまに重要な
お知らせ

災害時等におけるスムーズなご連絡のため

携帯電話番号の ご登録を、お願ひいたします。



災害時に大切な情報を受け取れない！

災害などで避難されている場合でも、**大切なお知らせ**を**より早く、より確実**にお受け取りいただくため、**携帯電話番号のご登録**をお願いいたします。



契約内容を確認できる書類が手元にない！

JA共済アプリなら、いつでも・どこでも、迷わず、**ご加入の保障内容の確認**や、**共済金請求等**のご連絡ができるため、**JA共済アプリのご登録**をお願いいたします。



携帯電話番号のご登録方法

JA共済アプリから

- JA共済アプリをインストールいただき、「JA共済IDの新規登録」を選択して、手順に従ってご登録ください。
 - 登録完了後、JA共済アプリの下部メニューの「登録情報」より携帯電話番号をご登録ください。
- 詳しい登録手順は、
当チラシ裏面をご参照ください。

JA共済アプリのほか、Webマイページからの登録も可能です

- 右のQRコードを読み取って、Webマイページの「新規登録」を選択してご登録ください。
- なお、登録手順は、JA共済アプリからのご登録と同様です。
当チラシ裏面のSTEP 02～STEP 06をご参照ください。



※QRコードは(株)デンソー
ウェーブの登録商標です。

ご登録等の操作方法は、オペレーターがサポートします

1 JA共済相談受付センターにお電話ください

0120-536-093

受付時間：9:00～18:00（月～金曜日）、9:00～17:00（土曜日）

※日曜日、祝日および12月29日から1月3日を除きます。

※メンテナンスなどにより、予告なく変更する場合があります。

2 音声ガイダンスにしたがって、[1] を押してください

JA共済アプリ・Webマイページに関するお問い合わせ窓口につながります。

一緒にできるから
安心ですね

ご利用者の端末の画面を共有いただくことで、
オペレーターが確認しながら、登録方法を
ご案内することができます。詳しくは、
オペレーターにお申し出ください。

※端末画面の共有は、一部画面で
ご利用いただけない場合がございます。



安心を、いつでも手元に。

JA共済アプリ 新規登録キャンペーン実施中！

期間：2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)

先着

1,000円相当の

デジタルギフトをプレゼント！

さらに

豪華賞品が

抽選で人気の

当たる！(計600名様)



キャンペーンの
応募方法等の
詳細はこちら



安心を、いつでも手元に。

JA共済アプリ

加入後の保障内容は、つい忘れてしまいがち。
でも、もしもの時に確認や連絡ができないと、
生活の立て直しに時間がかかることも。
JA共済アプリが、あなたの手元に安心をお届けします。

災害時も安心の
サポートが受けられる /



新規登録方法 初めてご利用の方はこちらから

STEP 01

安心を、
いつでも手元に。

ログイン

JA共済IDを新規登録

インストールしたJA共済アプリを立ち上げ「JA共済IDを新規登録」を選択

STEP 02

JA共済ID 登録

メールアドレス (JA共済ID) 必須

例) kyosai.taro@id.ja-kyosai.or.jp

JA共済IDとして登録するメールアドレスを入力

STEP 03

認証コードの確認

認証コード 必須

入力いただいたメールアドレスまたは携帯電話番号宛に送信された認証コードを入力してください。

入力したメールアドレスに届いた認証コードを入力

STEP 04

メールアドレス (JA共済ID) 必須

kyosai.taro@ja-kyosai.or.jp

パスワード 必須

パスワード 入力

半角英数字混合で8文字以上を入力してください。

パスワード (確認) 必須

パスワードを設定し、利用規約に同意して「新規登録」を選択「次へ」を選択(JA共済ID登録が完了)

STEP 05

ご契約情報

マイページ番号
例) 1500000011 (半角数字)

証書番号
例) 0133000001201 (半角数字)

Webマイページの登録のため、マイページ番号または証書番号を入力

STEP 06

お名前

漢字氏名
姓 (例) 井浦

名 (例) 大郎

カナ氏名
セイ (例) キヨウサイ

メイ (例) タロウ

ご契約者情報など各項目を入力・確認して「登録」を選択

STEP 07

完了 選択 auth.id.ja-kyosai.or.jp オン ×

Webマイページご登録 お手続き完了

ご登録が完了しました。

ご登録完了画面で「完了」または「閉じる」を選択



JA共済アプリ
ダウンロード

App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



JA共済アプリ

各ストアから検索も可能です。

JA共済アプリでの携帯電話番号のご登録方法

STEP 01

保障の確認

ご案内

お手続き

お手続き

選択

JA共済アプリの画面下部メニューの中から「登録情報」を選択

STEP 02

ご契約一覧

ご登録情報

住所・電話番号

氏名(姓)

共済会員登録

各種室内・連絡先

メールアドレス

選択

携帯番号

登録情報の中から「携帯番号」を選択

STEP 03

携帯番号 (JA共済ID) 設定

各種お手続きで使用する認証コードを記載したSMSの送付先となる携帯電話番号 (JA共済ID) の登録・変更を行います。

携帯電話番号を入力し「次へ」を押してください。(入力された携帯電話番号に認証コードが送付されます。)

携帯番号 (JA共済ID)

※携帯電話番号は半角数字11桁 (ハイフン無し)

入力

携帯電話番号を入力ください。

STEP 04

ログアウト

JA共済 Webマイページ

認証コードの確認

認証コード

必須

必須

※SMSが届かない場合は以下をご確認のうえ、携帯電話番号を入力し、認証コードを再送付してください。

認証コードを入力し、ご登録完了となります